



音楽「ちいきにつたわる音楽でつながろう」では、お祭りの音楽に親しみました。「祇園囃子」などのお囃子を聞き、普段聞きなれない楽器の音に興味をもって、お祭りの雰囲気味わっていました。単元の後半では、長胴太鼓と絞太鼓を演奏しました。太鼓の響きに楽しさを感じ、笑顔で演奏していました。また、鉄琴・木琴で「ラ」「ド」「レ」の3音を使って旋律作りを行いました。友達と協力して、「お話ししているよう」な旋律を作ることができました。発表会では、太鼓のリズム伴奏に合わせて、作った旋律をリコーダーで演奏しました。「今までの音楽で一番楽しい」と意欲的に学ぶ姿が見られました。



社会「火事からまちを守る」では、まちの安全は誰が守ってくれているのだろうという問いから学習を始めていきました。自分たちが知っていることをクラスで共有し、実際に消防署の方々にお越しいただきました。消防車や資機材、防火服、ホースカーの使い方やどのような場面で活躍するものなのか、消防署の人たちがどのような活動をしているのかを、体験を交えながら聞きました。「119番に連絡すると消防指令センターにつながるのは、消防署の人が連絡を取れなかったり、近くの消防署に連絡がいくようにしたほうが現場にすぐつける。」と子どもたちは、火事からまちをまもる人たちの工夫について意欲的に学んでいる様子でした。

## 3年生のようす

国語「食べ物のひみつを教えます」では、食べ物のひみつ紹介パンフレットを作成しました。自分が紹介したい食品を決めると、資料を活用して調べ、ウェビングマップや表にまとめました。文章の組み立てを考えるとときには、『すがたをかえる大豆』で学んだ「例を具体的にあげること」や「写真や絵を使って説明すること」などの説明をわかりやすくする工夫を取り入れながら、熱心に取り組む姿が見られました。「麦はビールのもとになっているんだって。」「かまぼこって魚がへんしんしているの。」と、驚きながらも楽しそうに学習している姿がすてきでした。完成したパンフレットは、冬休み明けにご家庭に持ち帰ります。ぜひ、一緒に読んでいただき、はげましの声をかけていただけたらと思います。



図工の学習「くぎうちトントン」では、金づちを使って木に釘を打ち作品をつくっています。子ども達は、材料が届くのを楽しみにしていました。初めて工具を使う子もいましたが、皆、楽しそうに活動します。図工室中に、トントンと音が響き渡り、熱心に作品作りに取り組む姿は、小さな芸術家のようにです。木材と木材を繋げて、動物やお城をつくる子。釘を打ち付けて顔や名前のイニシャルをつくる子。思いを膨らませて活動し、気が付くとあっという間に1時間が経っていました。「疲れたー、でも楽しいー」「見て、見て、足が動くんだよ」「早く、家に飾りたいな」「休み時間に遊んでもいい？」と、皆、満足そうです。出来上がった作品を持ち帰りしたら、是非、お子さんと作品を鑑賞して、楽しんでいただきたいと思います。



